

浜学園	5年						
	算数						
学習内容	No.4 分数(2) No.5 およその数 No.6 数の規則性(1) No.7 数の規則性(2)						
家庭学習ポイント	3月もおもに数に関する学習が続きます。No.4『分数(2)』では、分数の性質や四則計算のしかた、分数と小数の関係や分数に関する様々な問題を学習します。1/2=0.5、1/4=0.25、3/4=0.75、1/8=0.125など、今後多用するため覚えておくべき小数と分数の関係についても押さえておきたいですね。No.5『およその数』では、基本的な切り捨て、切り上げ、四捨五入の練習から学習していきます。応用問題としては、概数から元の数の範囲を考える問題、概数どうしの和と差の範囲の問題などがあります。No.6からは数の規則性を学習します。No.6では偶数と奇数、繰り返しの群数列、ある数で割ったときの余りによる組み分けの数表などについて学習します。カレンダーによる曜日当ての問題(日暦算)は高度で、上位クラスでも「1違い」で間違うお子さんが続出します。No.7では等差数列、循環限小数と群数列、フィボナッチ数列、等比数列の和などについて学習します。チャレンジ問題では正方形型の数表に規則的に数字が入っている問題などを扱います。						
課題の把握と解決策	チェック1	1/2=0.5、1/4=0.25など、覚えるべき小数と分数の関係を覚えていますか？					チェック
	解決策	丸覚えせず「1/2は1の半分⇒0.5」「1/4は1/2の半分⇒0.25」と考えながら覚えていきましょう					<input type="checkbox"/>
	チェック2	概数からもとの数の範囲を正しく答えられていますか？					チェック
	解決策	「以上」「以下」「未満」といった言葉の意味を正しくとらえることが重要ですね					<input type="checkbox"/>
	チェック3	群数列の「あまり」の処理を正しくできていますか？					チェック
	解決策	最後の最後は「数える」くらいの取り組み方でいいでしょう					<input type="checkbox"/>
	チェック4	ある月のカレンダーの同じ曜日の日付に共通する特徴を理解していますか？					チェック
	解決策	日付を7で割ったときの余りが同じになるのが同じ曜日ですね					<input type="checkbox"/>
	チェック5	5年生の週間学習スケジュールはできましたか？					チェック
	解決策	春休み前に一度振り返りの機会を持ちたいですね					<input type="checkbox"/>
浜学園	5年						
	国語						
学習内容	No4 説明的文章を読む（1） No5 説明的文章を読む（2） No6 説明的文章を読む（3） No7 漢字（1）かなづかい						
家庭学習ポイント	3月の5年生は、読解では説明文の単元が3回です。知識分野では「漢字（1）かなづかい」の単元を学習します。説明文とは、筆者の知識や考えを読み手に伝えるために、順序立てて書かれた文章です。文章の「話題」をつかんでから、文脈を読み取っていきましょう。「話題」は最初のほうに書かれてあります。また、繰り返して使われているキーワードも要チェックです。今後の授業では、要点・要旨・要約といった言葉が何度も使われるでしょうから、今月の単元で、それらの言葉の違いを把握しておきましょう。要点・要旨・要約を正しく理解するには、まず段落ごとに「中心文」があることを理解しましょう。その段落で筆者が最も言いたいことが書かれている文ですね。この「中心文」の内容を短くまとめたのが段落ごとの要点、この要点をつなぎ合わせて元の文を短くまとめたものが要約ですね（元の文の半分くらいのイメージ）。要旨とは、筆者がこの文章でいいかかったことを、必要な言葉を補って短くまとめること。一文で表すことが可能な場合もある、くらいのイメージを持っておくといいですね。						
課題の把握と解決策		段落ごとの「中心文」を見つけることができますか？					チェック
	解決策	段落のはじめや終わりにあることが多いですね					<input type="checkbox"/>
	チェック2	説明文の読解では、逆説の接続語に注目していますか？					チェック
	解決策	まずは一般的なことを説明し「しかし」などの後に筆者の考えが述べられることはよくありますね					<input type="checkbox"/>
	チェック3	要点・要旨・要約を正しく理解できていますか？					チェック
	解決策	中心文から要点をまとめ、それをつなぎ合わせて要約し、短く要旨をまとめる練習をしてみましょう					<input type="checkbox"/>
	チェック4	うまく回る学習サイクルはできてきましたか？					チェック
	解決策	春休み前に一度振り返りの機会を持ちたいですね					<input type="checkbox"/>
	チェック5	語彙を増やす努力をコツコツと続けていますか？					チェック
	解決策	語彙が豊富だと読解における「読み違い」もぐっと少なくなります。続けましょう					<input type="checkbox"/>

浜学園	5年							
	理科							
学習内容	No4 根・茎のつくりとはたらき No5 葉のつくりとはたらき No6 花のつくりとはたらき No7 こん虫のつくりと育ち方							
家庭学習 ポイント	3月は植物、そしてこん虫の学習に入っていきます。双子葉、単子葉植物の分類とつくりは丸覚えするのではなく「茎に形成層を持たず葉はシンプルな平行脈、大きな体にならないつくりの単子葉植物は「環境適応型」であり、素早く成長して多くの実（イネ科の場合、穂）をつける、といった「イメージ」を理解しておくのと暗記の効率もよくなります。単子葉植物の代表的なものがイネ科であり、他にはユリ科（ユリ・チューリップなど）、アヤメ科（アヤメ・カキツバタなど）、ツユクサ科（ツユクサなど）くらいしかなく、おもにイネ科の植物をできるだけ覚えておくのが有効です。花についてはアブラナ科、マメ科、ウリ科、ヒルガオ科、キク科などの花びら、おしべの数などを押さえておきましょう。それぞれの花の大きな特徴（ヒルガオ科＝5枚の花びらがくっついてろうとようになっている・キク科＝小さな花が集まって1つの「頭花」をつくっている など）を説明できるようにしておくことも重要です。こん虫では、その定義をあいまいにしないことが重要です。体が3つの部分に分かれ足は6本、羽は4枚ということを中心に、例外を覚えるといいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	単子葉植物と双子葉植物の根・茎・葉のつくりを正しく覚えられていますか？						チェック
	解決策	「単子葉植物は成長よりも環境への適応を選んだ植物ですべてが簡素な作り」と理解しましょう						<input type="checkbox"/>
	チェック2	植物の茎の断面に見える道管、師管の位置を答えられますか？						チェック
	解決策	内側にある太い管が道管（根から吸い上げた水が通る管）ですね						<input type="checkbox"/>
	チェック3	アブラナ科の植物の雄しべの特徴を正しく説明できますか？						チェック
	解決策	「4長2短」つまり6本で4本が長く2本が短い、が正解ですね						<input type="checkbox"/>
	チェック4	さなぎになるこん虫（完全変態）をいくつか言えますか？						チェック
	解決策	カブトムシの仲間（甲虫）、チョウ・ガの仲間、アリやハチ、ハエやアブ、カの仲間などですね						<input type="checkbox"/>
	チェック5	羽が2枚のこん虫、羽がないこん虫を答えられますか？						チェック
	解決策	2枚はハエ・カ・アブ、ないのはハタラキアリなどですね						<input type="checkbox"/>
浜学園	5年							
	社会							
学習内容								
家庭学習 ポイント								
課題の把握と解決策								チェック
								<input type="checkbox"/>
								チェック
								<input type="checkbox"/>
								チェック
								<input type="checkbox"/>
								チェック
								<input type="checkbox"/>
								チェック
								<input type="checkbox"/>